

日本 100 名城
国指定史跡七尾城跡

七尾城史資料館・懷古館

七尾市教育委員会
(公財)七尾城址文化事業団

『懷古館』(旧飯田家住宅)は、七尾城とその戦国城下町に縁の深い古屋敷町にあります。加賀藩の肝煎(庄屋)の住まいとして江戸時代後期に建てられた茅葺きの家です。



戸障子を取り外すと大きな広間になる間取りも、能登の民家の典型で、冠婚葬祭に役立ちました。太い松の梁や櫓の柱は、深い雪を支えるだけでなくその威勢を示し、うるし塗りです。

あまとよばれる茶の間の高天井は、竹を並べて煙や湿気を吐きだします。夏涼しく冬はいささか寒いのですが、だからこそ人々は大きな囲炉裏を囲んでよりよって生活したわけです。

古い能登の生活と精神を支えた家のもつ重々しさや哀しさや美を伝える懷古館です。

それを包みこんでいる杉木立の多い庭園は、野趣にとみ、特に苔の生育に適しているため、四十種類以上といわれる苔が庭園をおおっていて、苔植物園と名付けた学者もいます。

隠し井戸が木陰に今も水を湛え、山岳仏教寺院からの古雅な欄間があり、能登の自然と歴史と生活が、烈しい時の流れの片隅に、ひっそりと息づいている所……と言えるでしょう。

ご案内

- 七尾城史資料館・懷古館**
- 開館時間
午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)
 - 休館日
毎週月曜日(祝日の場合は翌日)
12月11日～3月10日(冬期休館)
 - 入館料 《一般》 《大高生》
資料館 200円 160円
懷古館 200円 160円
【団体20名以上】
資料館 160円 120円
懷古館 160円 120円
 - 交通
・タクシー JR七尾駅から5分
・市内循環バス「まりん号」
東回り「古屋敷町」下車 徒歩2分
・ななおコミュニティバス
ぐるっと7(東コース)
「グランド前」下車 徒歩3分
 - お問い合わせ
〒926-0024
石川県七尾市古屋敷町タ8-6
(公財)七尾城址文化事業団内
 - 七尾城史資料館
電話・FAX (0767) 53-4215
E-mail sp6b9n89@kind.ocn.ne.jp
 - 懷古館
電話・FAX (0767) 53-6674
E-mail kaikokan@celery.ocn.ne.jp
 - 日本百名城スタンプあります。



登録有形文化財（建造物）について

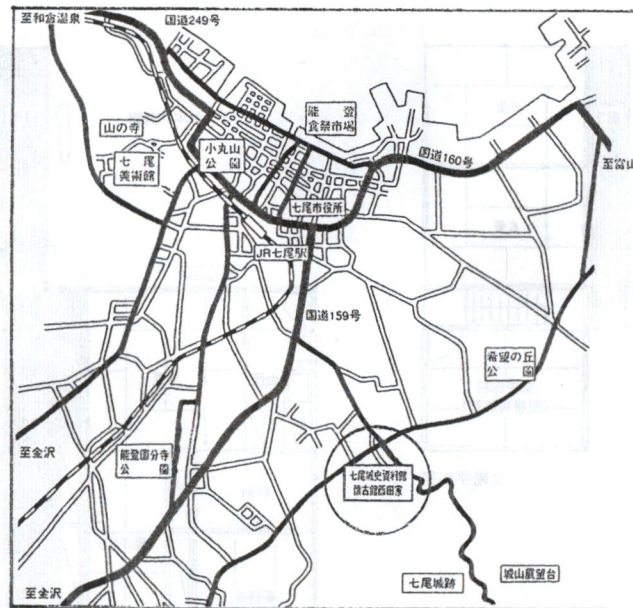
平成8(1996)年10月に新設された「登録文化財制度」に基づき、文化庁より認定される歴史的建造物のことです。従来の指定文化財制度（国宝、重文、県・市指定など）を補完するものとして位置づけられています。対象となるのは、築五十年以上が経過した建造物であり、地域独特の歴史文化や造型意匠を備え、広く親しまれているものです。さらにこの制度の新しさは、建造物を広く活用しながら保存していくもので、地域活性化へのまちづくりへ連動していく可能性があります。

この制度が創設されてから10年が経過し、その登録数は現在5千件を越え、全国各地で地域独特の保存活用策やまちづくりが実施されています。

七尾市内の登録有形文化財一覧

(平成27年4月現在)

- 1 北島家茶店主屋 七尾市一本杉町
- 2 多田家住宅主屋（旧上野啓文堂）七尾市一本杉町
- 3 鳥居醤油店主屋 七尾市一本杉町
- 4 高澤ろうそく店主屋 七尾市一本杉町
- 5 神野家住宅主屋 七尾市塗師町
- 6 勝本家住宅主屋 七尾市一本杉町
- 7 春成酒造店主屋 七尾市今町
- 8 室木家住宅主屋・門及び塀 七尾市中島町浜田
- 9 懐古館主屋（旧飯田家住宅）七尾市古屋敷町
- 10 赤倉家住宅主屋 七尾市魚町
- 11 春木屋洋品店 七尾市桧物町



ご案内

●開館時間

午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

●休館日

毎週月曜日、祝日の翌日 12月29日～1月3日

●入館料

《一般》 《大高生》

200円 160円

(160円 120円：団体30名以上)

●交通

タクシー JR七尾駅から5分

市内巡環バス「まりん号」

東回り「城山の里」下車 徒歩2分

七尾バス「グランド前」下車 徒歩3分

●お問い合わせ

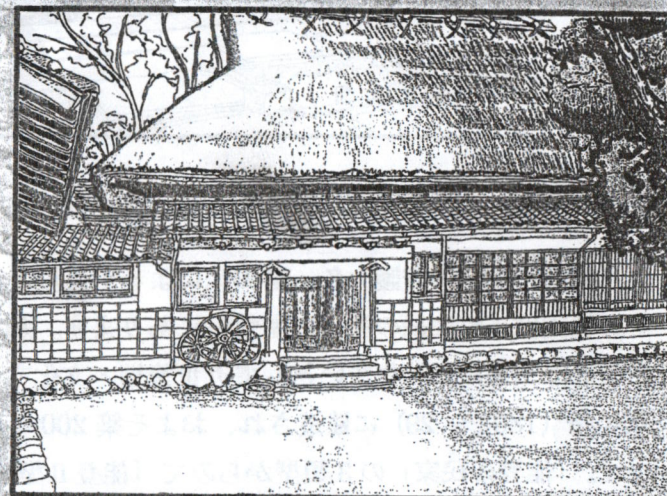
七尾城史資料館・懐古館

〒926-0024 石川県七尾市古屋敷町タ8-1

電話(0767)53-6674

パンフレット作成

綿 孝征・市川 秀和(福井工業大学)



国登録有形文化財

懐古館

(旧飯田家住宅)

一七尾市教育委員会一

